

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年11月20日

【評価実施概要】

事業所番号	2070200817
法人名	有限会社創生活環境運営
事業所名	ひだまりの里さがさ
所在地	長野県松本市大字笹賀2517-3 (電話) 0263 - 85 - 7114

評価機関名	特定非営利活動法人アイネットSAKUMA		
所在地	長野県松本市大字芳川小屋508番地3		
訪問調査日	平成19年11月7日	評価確定日	平成19年11月30日

【情報提供票より】(平成19年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成14年 6月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	8 人	常勤5人, 非常勤3人, 常勤換算6.5人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋 造り		
	2 階建ての	1 ~ 2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	75,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円
敷 金	有(225,000円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,350 円	

(4) 利用者の概要(平成19年10月1日現在)

利用者人数	18 名	男性 3 名	女性 15 名
要介護 1	1 名	要介護 2	2 名
要介護 3	4 名	要介護 4	5 名
要介護 5	6 名	要支援 2	
年齢	平均 87.3 歳	最低 80 歳	最高 94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人聖会大池内科クリニック/高林歯科医院
---------	------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開設5周年が経過したグループホームです。開設記念講演を地域医師にお願いされ利用者家族・地域住民へもお誘いをし地区公民館で行った。講演をされた医師・地域住民にも好評であった。講演は利用者の為だけでなく地域の方々にも聞かれている事を伝える事も出来た。地元中学生が家族会主催の行事に参加されたり、利用者が中学校文化祭に招待される等、内に籠もらず外にも積極的に出かけている。

自然体で普通の生活を利用者・家族・職員で楽しむ様子を感じることができた。家族会の支援、経営者・管理者・職員其々が協力しより良い環境づくりをしている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	地域活動への積極的参加。・利用者自身での買い物での金銭管理の支援。 自社デイサービス栄養士との献立作成等の実施。・近隣グループホームとの交流。 松本圏域グループホーム連絡会参加及び相互研修・交換実習の取組。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	状況・課題を素直に正確に把握しています。取り組みも積極的にされています。 利用者が良い環境で過ごせるよう、日々自問自答しながら一步一步進められています。 が、より重点化しての取り組みを期待します。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議を定期的開催し、職員の主体性を尊重した、報告・提案・協議による問題解決に取り組んでいます。松本市独自事業「福祉ひろば」の活用をされ、地区の「福祉ひろば」での自施設紹介や認知症介護について説明し、運営推進会議外での交流も取り組まれた。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族に定期的にお便り及び電話にて連絡を行っている。また施設内に行事等の様子を取った写真など提示している。(施設での日常の表情が確認出来る。) 家族会主催行事など年2回開催し、意見・苦情等言いやすい環境作りに取り組まれている。家族からも高い評価と感謝が寄せられています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	笹賀地区・「福祉ひろば」との連携が推進され、施設内のみでなく此方から出かけて行く事による付近での交流(付近での買い物・散歩途中の野菜提供など) 地域の住民の方々との交流・連携の積極的な取り組みをされている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でのグループホームのあり方を理念に取り入れている。地域・家族・職員の連携により、利用者と共に支え合いながら生活できる環境を整える事を、理念と共に実践している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念の共有を意識しながら実践されている。自己啓発カード等使い、振り返り・確認し理念の共有できるよう取り組んでいる。		今後も新規職員には丁寧に継続的に理念の共有に向けて指導しつつ、現任職員へも振り返り・確認し、理念の実践に取り組んで頂く事を望みます。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町会・笹賀地区「福祉ひろば」、中学校の生徒との行事参加（お祭り・文化祭）及び交流をされている。		現在の取り組みに加え、地域、公民館活動にて地域住民に向けて、より理解を深めて頂ける様取り組みを期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年度の評価を基に改善を進めている。特に地域活動への参加が進んだ。又、継続的に取り組みを図っている。今年度書式等変更になった事を機会と考え職員との勉強会を開かれた。		

ひだまりの里さが

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議を定期的（6月11月）に開催し、具体的にテーマを出し、協議を行い、情報の共有と改善を進めた。</p>		<p>職員の主体性を基に建設的な問題解決の会議になるよう工夫して取り組むよう望みます。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>地区の「福祉ひろば」（松本市独自事業）で自施設の紹介や認知症介護について説明を行った。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族向けには毎月のお便りにて伝え、急ぎの事に関しては電話又は手紙にて対応している。来所頂く家族の施設での写真等を掲示し日常の表情を見て貰っている。</p>		<p>日々家族の方々に報告されている。家族の方の職員への意識が高い故に、職員の異動については気にされていると思います。お便りの中で報告するなど施設として可能な範囲での取り組みを期待します。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情・相談記録には、深刻な内容の記述はなかった。</p> <p>外部者への相談は、松本市より派遣の介護相談員を、定期的に訪問し相談を受けている。</p>		<p>施設に対して利用者家族の評価は高く、感謝もされています。その維持し続け、またオープンな体制を持続される事を望みます。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>施設運営上の必要から異動等あったが、声かけ等の配慮をされ影響はなかった。</p>		<p>利用者家族への説明に取り組んで頂く事を望みます。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>長期（5年）・採用時（1年）研修プログラムを作成し、計画的に取り組まれている。また自己啓発カードの活用によるOJTや自己啓発も推進している。</p>		<p>研修の内容によってはフォローアップ研修、実地指導も取り組んで頂きたいと思います。（外部研修の他ビデオ視聴を題材とした事例検討研修）</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>松本圏域グループホーム連絡会を作り積極的に施設運営や職員の資質的向上に取り組んでいる。（相互評価や交換実習の実施）</p>		<p>連絡会を育てると共に大いに活用して行く事を望みます。職員にとっては、外を見る良い機会と共に他施設の従業者と交流する事による相乗効果も望めると思います。</p>
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用する等は実施されていない。（施設面で実施しにくい。）</p> <p>入所後は十分なサポートを心掛けている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員と利用者は普段の生活を共にするという事が施設の方針の1つであり、自然体である。利用者から職員が学ぶという姿勢を意図的に取り入れられている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の話・行動などに注意し、観察する事により、その変化等に配慮している。また、職員相互の情報交換を行っている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ケアカンファレンス開催時に、各職員が関係情報を出し、共有し合い、課題を提起し介護計画を作成している。</p>		<p>現在も可能な関係者に参加して貰ってはいるが少ない。(家族・利用者)色々な事情などあるかと思われるが、家族・本人が可能な限り参加して貰い、聴取する事で利用者主体の介護計画になっているか検証する必要があると、思われる。更なる取り組みを望みます。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的に、又利用者の変化等に対応して介護計画を見直している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者や家族等の状況の変化に対応して、暖かく的確な対応をされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医の受診支援は利用者・家族の希望を踏まえつつ支援を行っている。協力医療機関との受診結果についてはお便りにて家族に伝えている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>早い時期から医師等含めてカンファレンスを行っている。利用者・家族の意向を尊重し、その対応について職員も共有している。</p>		<p>その時々での対応と、対応方針の変化についても、より注意し、職員間での方針の共有に取り組む事を望みます。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者の尊厳を大切にしたやさしさと個人情報の保護に留意している。利用者間でのプライバシーの侵害が無い様注意している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>施設側の都合による対応もあると自ら認識しつつ、最大限に利用者のペースを大切に努力している。</p>		<p>利用者の健康面・安全面の配慮が優先するかと思いますが、その時々での対応での的確な判断を望みます。</p>

ひだまりの里さが

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を楽しむ環境づくりの支援を実践されている。職員と一緒に食材の買い物・下準備をし、会話を楽しみながら会食をし、職員と協力し利用者は片付けもされていた。年齢等に関係なくおいしい味付けに配慮されていました。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の好みや状況に対応して楽しい入浴になるよう声かけやタイミングの調整をしながら支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の希望等踏まえながら、楽しみを知り、教会での礼拝・買い物・美容等への対応を支援している。		個人と全員のバランスの中で可能な範囲で支援を望みます。
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩・ドライブ・外食等希望に沿って支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施設玄関前が主要道路に面している為、安全面から門の施錠を行っているが、他は開放している。安全確保には常に注意している。		

ひだまりの里さが

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>地区町会と地域の方々とも会議において協力を要請している。又施設の防災訓練への支援もお願いしている。</p>		<p>特に新任職員の入社時と新規利用者の入所時には、体制の再確認・訓練の必要性を検討頂く事を望みます。叶うならば毎月、再確認する事も利用者の特性から効果的と考えますので、取り組みを望みます。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事は毎食、状況を把握している。状況に応じ、処置を講ずると共に記録している。水分摂取にも個々に留意している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有空間は明るく清潔で、落ち着いた雰囲気を作っている。玄関先にはアイドルのウサギが鎮座し利用者から可愛がられている。壁には利用者の作品、日常・行事などの写真で飾られアットホームな居心地の良い空間になっている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者の好みにて配置をされ、利用者本位の居室になっている。時には家族の協力も得られている。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。